仕　様　書

仕様書番号：007

部署･部屋名	血液内科
調達機器名	遠心型血液成分分離装置
調達数量	１式

１．機器の構成（１式の構成）

１－１　遠心型血液成分分離装置　　１台

１－２　Collectionｾｯﾄ（6入）　　１個

１－３　取扱説明書　　１部

２．構成品の仕様

２－１　遠心型血液成分分離装置

・外形寸法　　：W530×D820×H1,650mm以内

・電源　　：単相AC100V 50-60Hz

・消費電力　　：1KVA(最大)

・重量　　：95kg以下

・操作ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ：10.5ｲﾝﾁｶﾗｰﾀｯﾁｽｸﾘｰﾝ

・分離方式　　：血液成分の比重及び大きさにより分離

・血液回路　　：ｶｾｯﾄ式

・回路はﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ回路であること

・採取手順　　：単核球採取、骨髄濃縮、顆粒球採取、血小板除去、血漿交換、赤血球除去

・流量ﾎﾟﾝﾌﾟはACﾎﾟﾝﾌﾟ、採血ﾎﾟﾝﾌﾟ、血漿ﾎﾟﾝﾌﾟ、採取ﾎﾟﾝﾌﾟ、返血ﾎﾟﾝﾌﾟの5つを装備し、患者の体液ﾊﾞﾗﾝｽを正確に管理できること

・遠心器内の血液分離状況が常に目視で確認でき、製剤等の微調整がおこなえること

・自動ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ管理により、自動的にｲﾝﾀｰﾌｪｲｽの位置と動きをﾓﾆﾀｰし、分析、調整する。CCDｶﾒﾗ搭載により、1秒間に25回のｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ画像をﾓﾆﾀｰし、常時自動管理をおこなうこと

・患者/ﾄﾞﾅｰの循環血液量に対し抗凝固剤注入量の制限を自動計算し、機械が自動制御するため、ｵﾍﾟﾚｰﾀｰの技量によらず抗凝固剤による副作用を低減できること

・処理記録、入力記録、運転ﾊﾟﾗﾒｰﾀなど採取に関わる詳細をすべてﾌｧｲﾙに記録しﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸに100件保存できること

・ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸに保存されたﾃﾞｰﾀはPCに取込み日本語での印刷ができること

・ﾁｭｰﾌﾞｼｰﾗｰを標準装備していること

・装置本体にｷｬｽﾀｰが装備されていること